



川島ホスピタルグループ広報誌
Vol.8 2010

© Photo 2010. M.TSUBONE



医療法人 川島会

●川島病院

●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

●ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

川島ホスピタルグループ広報誌 第8号 2010年9月発行 発行/川島ホスピタルグループ

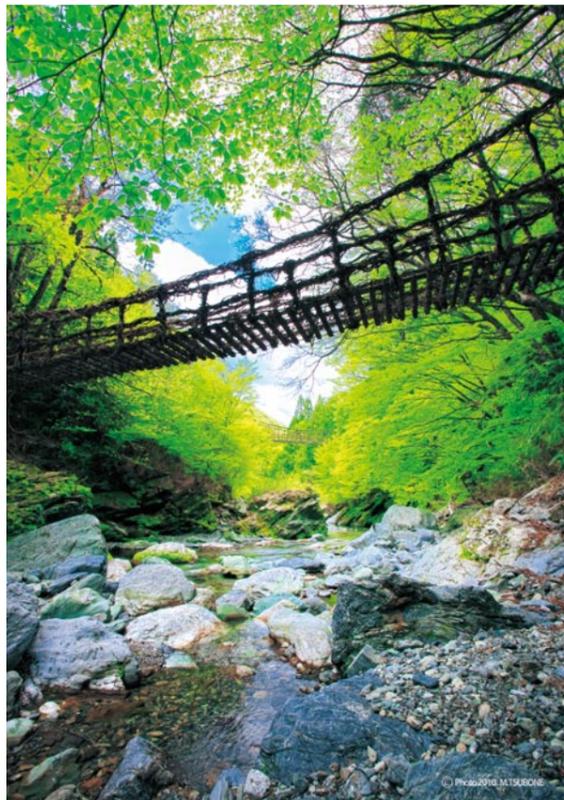
〒770-8548 徳島市北佐古一番町1-39 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

編集/川島ホスピタルグループ・広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <http://www.khg.or.jp> 印刷・製本/徳島出版(株)

CONTENTS

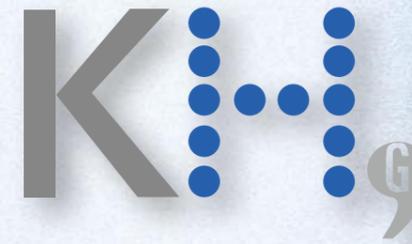
KAWASHIMA HOSPITAL GROUP MAGAZINE 2010 vol.8

2	特集	地域に根ざし、利便性に優れた 専門病院をめざしています
		◎副院長 土田健司 ◎糖尿病科 部長 野間喜彦 ◎皮膚科 横田 綾 ◎泌尿器科 部長 西谷真明 ◎放射線科 部長 日下まき ◎歯科 川島友一郎
9	事業計画	平成22年度事業計画
10	Photo Gallery	写真で見る川島ホスピタルグループ行事(2009-2010)
12	業績集	平成21年度(2009)業績集



■表紙写真・奥祖谷二重かずら橋

約800年前平家一族が剣山、平家の馬場での訓練に通うため架設したといわれている。奥祖谷かずら橋キャンプ場への通路となっている。かずら橋が2本並んで架かっている為、通称「男橋女橋」とも「夫婦橋」などと呼ばれる。
住所:三好市東祖谷菅生620



ロゴマークの意味

Kawashima Hospital Group

私たちのロゴマークには、3つのキーワードが含まれています。

Kind 優しい

- 患者さんを癒す精神的なケア
- 社会復帰を支援するリハビリ・運動療法

Honest 誠実な

- 正確な知識に基づいた医療
- 24時間サポート体制

Growing 伸びゆく

- 先進の検査・医療機器を完備
- ITを駆使した情報管理

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎泌尿器疾患と糖尿病の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

**地域に根ざし、利便性に優れた
専門病院をめざしています**

川島ホスピタルグループは腎臓、心臓、泌尿器疾患、糖尿病、歯科の専門病院です。当院のさまざまな診療科には色々な医療機器があり精度の維持・機能の更新を日々行いつつ、迅速で正確な診断や適切な治療に役立てています。

今回は各科の一部、特に最近導入された医療機器とそれに携わる職員をご紹介します。

透 析

◎副院長 土田健司

充実するKHGの透析環境

（全施設全自動透析装置導入、オンライン HDF 開始、酢酸フリー透析液臨床使用）

川島循環器クリニック

KHGではこれまで川島病院、鴨島川島クリニック、鴨門川島クリニックにおいてジェイ・エム・エス社製透析

用コンソール GC-110Nを採用しており、透析操作補助機能（逆濾過自動プライミング機能、脱血補助機能、急速補液機能、返血補助機能）を装備した全自動透析装置にて血液透析治療を行っていました。

一方、川島循環器クリニックではこの全自動透析装置導入が遅れていましたが、このたび川島循環器クリニックにおいても、東レ社製透析用監視装置 TR-3000MAを4月から導入し、当グループに存在する血液透析装置（全数：231台）は、すべて透析液を逆濾過することによってプライミング、回収、補液などが自動で行える装置になったこととなります（写真1）。

逆濾過機能付き透析装置、すなわち全自動透析装置はプライミング、回収、補液などで生理食塩液を用いず、透析液をダイアライザから逆濾過して入れることで、非常に経済的であり、なおかつ使用する透析液の水質も抜群にきれいな純化した透析液を用いて治療ができるシステムです。全自動透析装置は操作が簡便であり、統一した手技で



自動装置にてすべて行えるようになりました。

川島病院・鴨島川島クリニック

さらに、本年になって多用途透析用監視装置が認められるようになり、特にこれまで認可が難しかったオンライン血液透析濾過（On-line HDF）も施行できるようになりました。当KHGでもいちはやく、この多用途透析用監視装置を導入し、鴨島川島クリニックや川島病院でオンライン HDF 療法を施行しております。

HDFの種類にはオフラインHDF（off-line HDF）とオンラインHDF（on-line HDF）があります。

オフラインとは、置換液がバッグまたはポトルなどで透析液供給ラインと切り離されているものを指し、置換液には薬価収載されている濾過型人工腎臓用補液を用います。

一方、オンラインとは、置換液が透析液供給ラインと接続されているものを指し、置換液には透析液由来オンライン調整透析液（オンライン補充液、online prepared substitution fluid）を用います。その水質条件は Bacteria : less than 10⁻⁶ CFU/mL.



毎日行われているカンファレンス風景。



土田医師 透析室にて。

透析用水 (RO水) および透析液の水質基準

<透析用水の化学的汚染物質>
H15年厚生労働省令(第101号/50項目)に適合しており、かつ、以下の項目を満足すること。

カルシウム	2 mg/L (0.1mEq/L) 以下	バリウム	0.1 mg/L 以下
マグネシウム	4 mg/L (0.3mEq/L) 以下	亜鉛	0.1 mg/L 以下
ナトリウム	8 mg/L (0.2mEq/L) 以下	アルミニウム	0.01 mg/L 以下
フッ化物	70 mg/L (3.0mEq/L) 以下	ヒ素	0.005 mg/L 以下
塩素	0.2 mg/L 以下	鉛	0.005 mg/L 以下
クロロミン	0.5 mg/L 以下	銀	0.005 mg/L 以下
硝酸塩 (N)	0.1 mg/L 以下	カドミウム	0.001 mg/L 以下
硫酸塩	2 mg/L 以下	クロム	0.001 mg/L 以下
銅	100 mg/L 以下	セレン	0.01 mg/L 以下
	0.1 mg/L 以下	水銀	0.0002 mg/L 以下

<透析用水および透析液の微生物学的汚染物質> アクションレベルは50%

項目	細菌数	エンドトキシン値
透析用水 (RO水)	100 CFU/mL未滿	0.050 EU/mL未滿
医療機関 透析液 (本装置に接続する直前の箇所)	100 CFU/mL未滿	0.050 EU/mL未滿
透析装置 透析液 (逆ろ過する透析液)	0.1 CFU/mL未滿	0.001 EU/mL未滿

※「透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準2008」に準拠

表1

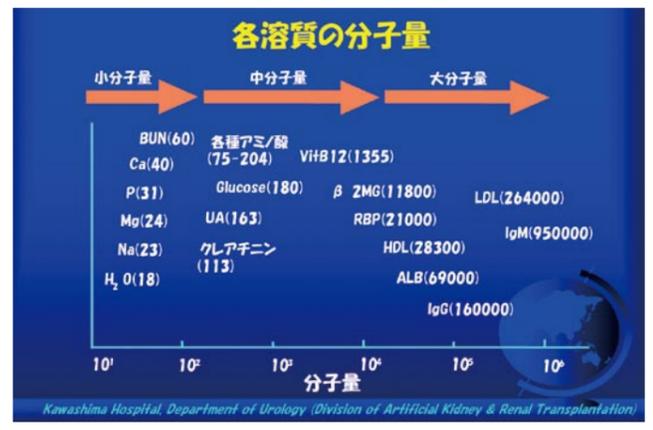


表2

Endotoxin : less than 0.001 EU/mL (less than detection limit) と非常に厳しい条件となっています。

HDFの臨床効果ですが、腎不全のため蓄積あるいは産生され、種々の臨床症状や合併症をきたす尿毒症物質として現在約2,000種類以上の物質が報告されています。さらに、これらの物質の中にはβ₂-ミクログロブリンをはじめとした中分子量物質から大分子量物質も多く含まれています。(表2)

HDF療法ではHDに比べβ₂-ミクログロブリン、サイトカイン、ホモシステイン、補体D因子など分子量の

大きな物質の除去に優れ、臨床効果としてHDでは改善が困難であるアミロイドシスの進行の予防、貧血ならびに栄養障害の改善、循環動態の安定化、動脈硬化の予防、生命予後の改善などが期待されています。(表3)

On-line HDFの経済性ですがOn-line HDF療法の臨床効果のうち、特に腎性貧血に対する効果は、絶大といわれています腎性貧血は透析液中エンドトキシン濃度を低下させるだけでも効果がありますが、HDF療法と組み合わせることで、エリスロポエチン製剤やダレボエチン製剤による医療費(年間

HDF/HFの治療効果
(主観的・客観的評価)

★**透析アミロイドーシス**
皮膚掻痒感

★**腎性貧血**
Restless leg syndrome
いらいら感
治療後倦怠感
栄養障害
透析困難症
尿毒症性心膜炎
心不全
虚血性心疾患急性期
脳血管障害急性期
急性血液浄化分野(救急領域)

Kawashima Hospital, Department of Urology (Division of Artificial Kidney & Renal Transplantation)

表3

1,200億円以上、透析医療費全体の約10%)を削減できる可能性があります。また、on-line HDF療法を継続することで、透析患者の予後自体を改善し、循環器合併症さらにはアクセストラブルの克服が可能になると、これら合併症克服に伴い、入院費用が削減でき(レセプト平均で外来患者40万円/月、入院患者70万円/月の医療費が現時点でかかっている。年間では900億円程度の計算となる)、現時点でかかっている透析医療費のコストの約9%が削減できる可能性があります。

したがって、現在盛んに言われている「医療の質・透析の質」を落とすことなく、医療費の削減ができるという理想的な状態になり、今後増加すると思われる末期慢性透析患者にも対応が可能となるでしょう。

鳴門川島クリニック

また、鳴門川島クリニックでは7月から酢酸フリー透析液を導入し、臨床治療で使用しています。酢酸フリー透析液はこれまでの透析液と違って、透析液に酢酸が全く含まれないことから、様々な臨床効果が期待されています。

これまでは、酢酸型透析液を使用し、透析液がボタンひとつで簡単に調製できるように透析治療が大きく広ま

る要因となりましたが、酢酸には末梢血管拡張作用や心機能抑制作用があり、酢酸代謝の遅い患者や酢酸不耐症の患者に酢酸に起因した不均衡症候群が発症し、透析液に炭酸ガスが含まれないため、透析により血中の炭酸ガスが大量に透析液中へ失われ呼吸抑制を生ずるなどの新たな問題が提起されました。

酢酸を用いた場合、高齢者や糖尿病など循環動態の不安定な透析患者の増加や、透析不均衡症候群の頻度が高いことが問題となり、対策が必要となり、透析中の不均衡徴候に酢酸の関与が疑われ、アルカリ化剤として再び重炭酸が研究されました。このように1980年代の後半には透析液第2世代である重炭酸を用いた透析液が主流となりましたが、濃度の安定性、pH調整、ライン管理など種々の理由から透析液中のアルカリ化剤をすべて重炭酸に切り替えることは困難で、重炭酸に10.0mg/Lくらいの酢酸を含

有していました。

一方、in vitroでは酢酸はエンドトキシシン(endotoxin:ET)とともに、末梢血の単核球マクロファージなどを刺激して、炎症性サイトカインの産生や放出に関与するとの報告があり、透析患者が透析液からの生体不適合因子に長期間慢性的に暴露されることにより、透析アミロイド症や栄養障害、慢

性微弱炎症、動脈硬化などの長期透析合併症の発症に関与している可能性が示唆され、透析液の生体適合性が注目されるに至りました。このような背景から透析液第3世代として酢酸フリー透析液(acetate free dialysis fluid:AFD)が登場し、今日普及しつつあるといえます。

まとめ

このようにKHGでは透析環境をさらに充実し、質を向上させることで腎不全患者のQOL向上のために、今後も努力をしようと考えています。

糖尿病

◎糖尿病科 部長 野間喜彦

**持続血糖モニター
(Continuous Glucose Monitoring) 装置の紹介**

自己血糖測定装置による血糖測定は、いろいろな時間帯の高血糖や低血糖、血糖のコントロール具合を知る上で非常に有用な手段です。しかし、一日数回の測定では、食後の血糖のピークや、睡眠中の血糖変動、無自覚性低血糖などを見逃してしまいます。

この問題を解決するために、持続血糖モニター装置が開発され、本院でもいち早くこの装置を導入いたし

ました。

お腹にセンサーを装着し、皮膚下の間質液の糖濃度を感知した信号を記録することで、5分ごとの血糖をずっと記録していきます。本院の装置では、最大3日間の連続装着が可能です。(写真1)

血糖コントロール不安定な方や、低血糖をくり返す方などを測定した結果、自己血糖装置では評価しきれな



写真1

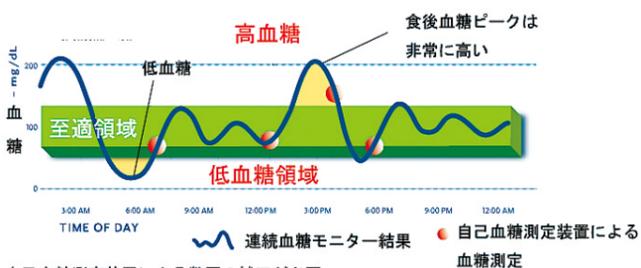


図1

かった血糖の変動をとらえられるようになり、その方にあわせた治療の調整が可能となりました。(図1)

皮膚科

◎皮膚科 横田 綾

NBI-UVB照射装置を導入して

透析患者の皮膚症状としては、痒疹や穿孔性皮膚症などが教科書的に有名ですが、実際に当院の患者さんを診て



いくと、皮疹の全くない皮膚掻痒症が非常に多いと気づきました。

透析皮膚掻痒症は、抗ヒスタミン剤、抗アレルギー剤の内服やステロイド外用が効かないことも多く、オピオイド受容体に働きかけるレミッチが数年前に承認され、新しい治療が出来るようになりました。

しかし、すでに多くの薬を内服している患者さんは、内服を希望されないことがあり、またレミッチが効かない場合もあり、紫外線による光線療法を行いたいと考えていました。

以前より、透析皮膚掻痒症にUVB

が効くといわれており、当科では今年の5月に透析皮膚掻痒症の治療目的で、ナローバンドUVB(NBI-UVB)照射装置を導入しました。

近年、皮膚科領域では光線療法として従来のPUVA療法に代わるものとしてNBI-UVBが使われるようになりました。これはUVBの中でも限られた波長の紫外線を出力するもので、乾癬やアトピー性皮膚炎、菌状肉症などの多くの皮膚疾患に効果があります。

NBI-UVBによる透析皮膚掻痒症の治療は、症例報告がほとんどなく、作用経路などは未だ不明な点も多いのですが、一説に肥満細胞を減少させると言われています。

患者さんには、透析の前もしくは後に治療を受けて頂いております。機械の前に立ち、専用のサンングラスをかけて照射します。最初は0.3J(約30秒)から開始し、様子を見ながら0.1Jずつ照射を増やしていきます。これを週に1回のペースで行っています。まだ始まったばかりで症例も少ないですが、効果が現れ始めている患者さんもあり、治療を進めていきたいと思っております。

泌尿器科

◎泌尿器科 部長 西谷真明

Flexible TUL (f-TUL)

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）の導入により、尿路結石症の治療は劇的に変貌しましたが、ESWL単独治療で解決できる結石は限られており、尿路結石治療ガイドラインにおきま

ても治療効果が低いにもかかわらず容易にESWLを選択し、その治療を繰り返すことは避けるべきであることが指摘されており。

近年、ESWL抵抗性結石に対する経尿道的尿路結石砕石術（TUL）の治療成績の進歩には目覚ましいものがあります。当初TULは中・下部尿管結石をのぞけばESWLの補助的治療の意味合いが強かったのですが、自由度の大きい軟性尿管鏡を用いた



放射線科

◎放射線科 日下まき

川島病院の画像診断 up to date.

昨年（2009年）の広報誌で、フィリップス社製256列冠動脈CTが紹介されましたが、それに少しくおくれ、2009年11月に、当院では初めてのMRIが導入されました。機種は東芝社製のEXCELART Vantage powered by Atlas 1.5Tです。（写真1）

主に頭部、整形領域の依頼が多く、ありがたいことに、需要の多い脊椎MRIは近隣の開業医さんや大学病院からも患者さんを紹介いただいております。また造影剤を使わないで、脳動脈、



写真1

と、紹介元の先生方に正確な画像と所見を提供すること…を大事に、スタッフ一同、日々気持ちを新たに頑張っています。（写真2）

歯科

歯科では常勤専門医2名、非常勤医師2名、歯科衛生士（常勤2名、非常勤1名）、歯科助手1名を配し、口中と全身を見据えた医療を目標としています。

◎歯科 川島友一郎

嚥下内視鏡の活用

～QOL向上のために～

どんなに歳をとっても、どんな病気になるっても食べるといことは、私たちの楽しみの中の1つです。では「口から物を食べる」ということについて普段私たちは全く意識していませんが、実は次のように分類されています。

- ①目で見て食べ物を認識する（先行期）
 - ②食べ物を口の中に入れよく噛む（準備期）
 - ③舌で食べ物を後ろ側に送り込む（口腔期）
 - ④食べ物が咽頭を通過する（咽頭期）
 - ⑤食べ物が食道を通過する（食道期）
- これらのうちいずれかが、何らかの原因で障害された状態を、専門的な言

写真2

Flexible TUL (f-TUL) の登場で上部尿管結石のみならず腎結石をも治療対象とすることが可能となりました。これには、周辺機器の開発も大きく関与しており、特にHolmium YAG laser 砕石装置の役割は重要です。当院におきましても、2009年よりHolmium YAG laser 砕石装置を導入し、軟性尿管鏡と組み合わせることにより、様々なESWL抵抗性結石に対する低侵襲な治療が可能となっております。また、ESWLと比較したf-TULの最大のメリットの一つに破砕した結石を直接摘出できることがあげられますが、これには新しく開発された尿管アクセスシースや細径バスケット鉗子の使用が不可欠です。当院ではこれらの最新の周辺機器を利用した安全でスムーズな手術手技の獲得にも努力を重ね、徳島県内におきましてトップクラスの手術数を経験しているものと自負いたしております。

尿路結石症は、30～40歳代の働き盛りの方に多い疾患であり、低侵襲な治療はもちろんですが、より短い治療期間で治癒を目指すことも重要となります。今後、尿路結石症に対しまして、ESWLとTULを適切に組み合わせることによって、より有効で低侵襲な治療を提供して参りたいと考えております。

業で「摂食・嚥下障害」と言います。その原因にはいくつか考えられます。例えば、舌やのどに構造上の問題は無くても、舌の動きが悪くなるために上手に食べ物を口の奥のほうに運べなくなったり、のどに食べ物があっても飲み込み反射運動がなくなったり、弱くなることがあります。高齢者の方であれば、唾液分泌量が減少することで、加齢による筋力低下もあって、よく咬むことができず、うまく飲み込めなくなったりします。また、気管に食べ物が入ってもうまく出すことができず、むせずに肺に食べ物が入り、いわゆる誤嚥性肺炎を起してしまうことがあります。また、認知症によりうまく摂食できない。といったことも原因として挙げられます。

川島病院歯科口腔外科では、一般の歯科治療に加えて、こういった摂食・嚥下の困難な方に対し、より安全に口から食事を食べることができるよう、その状態を評価し、歯科医師、嚥下トレーナー（NPO法人 摂食介護支援プロジェクト認定）の資格も持った歯科衛生士、理学療法士らが、指導・訓練、リハビリテーションを行っています。その評価方法には、嚥下内視鏡検査（VE: Video Endoscopy）（以下VE）を取り入れています。

VEとは、直径3mm程度の細いファイバースコープ（写真1）を鼻から挿



写真1

入し、咽頭・喉頭を観察する嚥下機能検査です（写真2、3）。その特徴とは、①「放射線被ばく」が全くない。②ベッドサイドでも検査ができ、場所を選ばない③検査の様子から嚥下機能をリアルタイムに評価することができるということです。検査は、内科医の協力のもとに非嚥下時と嚥下時の口腔・咽頭・喉頭・食道入口部の観察を行います。口中で咀嚼された食品の流れや唾液による汚れ具合、口から食べる機能が姿勢や食べ方によってどのように変化するか、また咀嚼によって食品がどのくらい咬まれているか、どのくらい唾液と混ぜ合わされているかなど、口からどの様に流れてきた食塊を実際に見ることが出来ます。その結果、どの程度

頸動脈、大動脈や腎動脈、下肢動脈などを描出できる非造影MRAは、保存期腎不全患者さんや透析患者さんにとって、最適なスクリーニング検査となっております。

院内外から検査を受けにこられる患者さんが安心して検査を受けられるこ

平成22年度事業計画

理念の実現に向けて下記の項目を着実に実行する。

1 医療法人の運営の安定化

- ① 複数の医療法人を医療法人川島会に吸収合併する。
- ② 川島病院や川島循環器クリニックなどを川島病院に統合し、病床数の増加を図る。

2 外来診療の充実

- ① 冠動脈CTの診断精度を向上させ、効率的に運用する。
- ② CT、RI、MRIを積極的に活用した動脈硬化性疾患のスクリーニング検査体制の確立。
- ③ 糖尿病診療において他院との医療連携を強化する。

3 透析患者の確保

- ① 関連施設との連携を深め、病状に応じた入所施設の確保に務める。
- ② 通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。
- ③ 外来透析患者分布に適応した、新たなサテライト施設の設置について検討する。
- ④ 徳島県の腎疾患対策事業に協力することにより、腎臓病外来の充実に務める。
- ⑤ 飛鳥が実施している介護タクシー事業を支援する。

4 院内不当要求防止対策の推進

- ① 院内暴力等を防止するための体制準備
- ② KHGクレーム対策マニュアルの周知徹底
- ③ 不当要求行為の防止に関する研修会の実施

5 歯科診療による患者ケアの充実化

- ① 入院患者の定期的口腔ケアと歯科治療の実施
- ② 外来血液透析患者の定期的口腔ケアと歯科治療の実施

6 災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進

- ① 大規模震災を想定しての定期的対応訓練の実行と災害に備えての準備の実施
- ② 各種手順やマニュアルの周知徹底、実行の推進
- ③ 対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育の強化と充実

7 教育・研究活動の強化と支援

- ① 新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容の充実
- ② KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加の奨励と支援
- ③ KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加の奨励
- ④ 院内学習会の定期的実施と部署ごとの勉強会、抄読会の頻回実施
- ⑤ 部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価と改善のための指導の実施
- ⑥ 部署、委員会における研究および活動テーマ発表会の実施
- ⑦ 業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援の実施

8 地域社会との交流や関連施設との連携の強化

- ① 第13回健康・福祉フェスタの実施と内容の一層の充実
- ② 広報誌の継続発行と内容の一層の充実
- ③ ホームページの内容充実とタイムリーな更新
- ④ 関連病院間や病診連携会議への積極的な参加

9 働き甲斐のある職場環境の確保

- ① チーム医療の推進
- ② 業務上の成果、努力の人事考課への正当な反映
- ③ 職員の職場労働安全衛生対策の推進
- ④ 職員に対する福利厚生の実施

の固さの食べ物がふさわしいか、水分にトロミをつけて粘度を増して摂取し方が安全かなどについて把握することができません。その検査の状況は、DVDレコーダーに録画します。したがって、検査直後に検査時の動画を患者さんへ直ちにお見せすることができません。外来やベッドサイドで簡単かつ迅速に嚥下機能検査を実施することができます（写真4）。

検査が終了すると、患者さんに合わせたプログラムを計画し、リハビリテーションの中心となります。リハビリテーションの中心となるのが、訓練です。訓練と言うと言葉の響きは良くありませんが、実際には食べ物を使わないで行う間接訓練と食べ物を使って行う直接訓練があります。間接訓練では、口唇・頬の伸展マッサージや舌・口腔周囲の可動域の運動を行います。



写真2

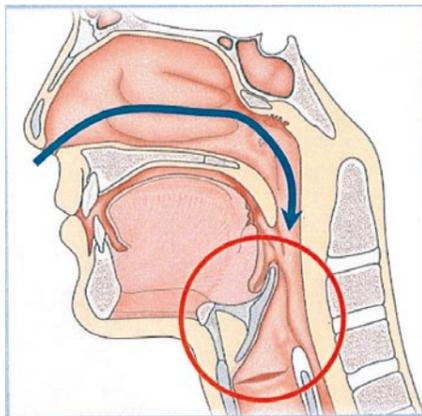


写真3

直接訓練とは、その患者さんに適した食事時の姿勢や、一口量、食べ方、食べ物を探し出し、食べる練習を開始していきます。食事だけでなく、水分にトロミを付けたリ、ペースト食ややさしみ食などを用いて口から食べる練習も行っています。

最後に当科では、毎日入院患者さんに口腔ケアを行っています（写真5）。お口の中が汚れた状態で食事をしたくないのは健康な人でも病気の方でも同じです。摂食・嚥下障害により、口から食べていなくても口腔ケアは重要です。専門的な口腔ケアを行うことで、高齢者の誤嚥性肺炎の発症率を低下させることも分かっています。ご家族の方でお口の中や汚れや乾燥などが気になる場合には、当科にて口腔ケアの指導や、専門的な口腔ケアも行っておりますのでご相談下さい。



写真5



写真4 嚥下機能検査を実施している様子。



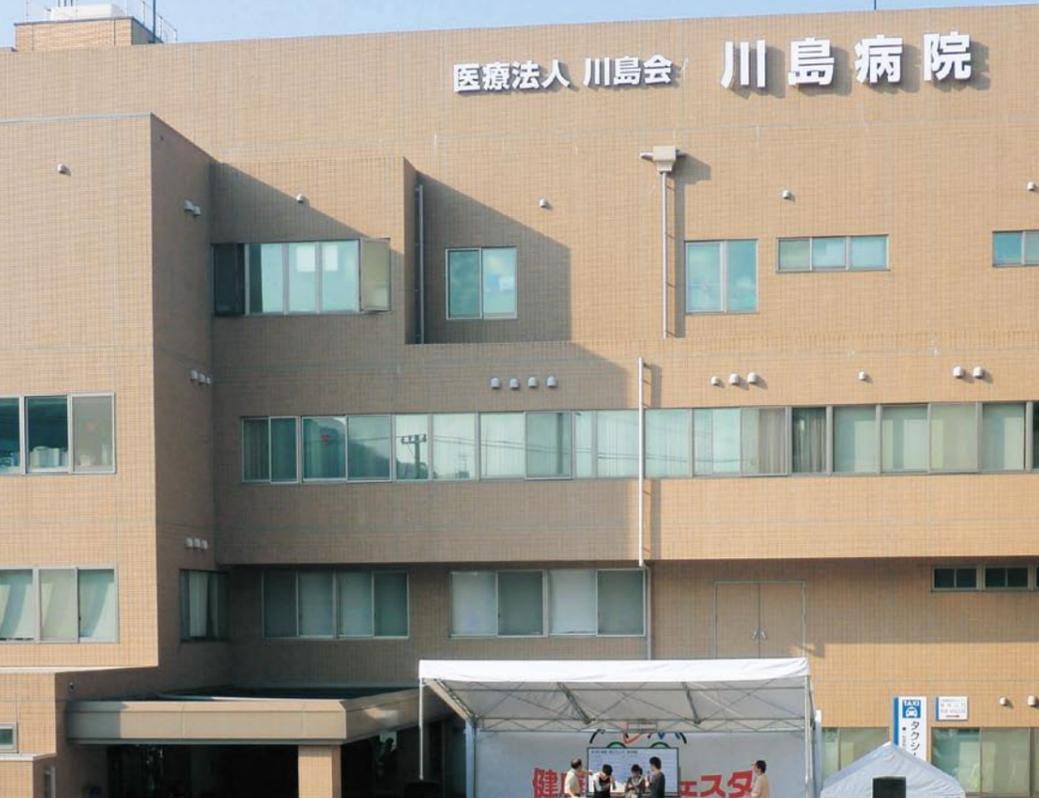
歯科スタッフ



当グループは、日本赤十字社に社資を寄贈し、金色有功章を授与されました。

2009-2010 Photo Gallery

写真で見る川島ホスピタルグループ行事
● 2009-2010



【主な行事】
 ●新入職員オリエンテーション ●歓迎宴会
 ●慰安旅行 ●地引網
 ●健康・福祉フェスタ ●忘年会 ●新年会

2009年～2010年
 1) 6ヵ月研修: 入職して6ヶ月目に研修があります。
 2) 徳島マラソン: 8名のKHG職員が参加しました。沿道の応援に励まされ最後まで走りぬきました。3) ハワイ研修: ハワイの病院の視察を行い、セミナーも受けました。4) 慰安旅行海外: 今年の海外旅行はグアムでした。5) 慰安旅行国内: 今年の日帰りの国内旅行は神戸花鳥園でした。6) 歓迎宴会: 今年入職の新入職員、自己紹介の様子。7) 救急勉強会: 毎月院内で様々な勉強会が行われています。8) 健康福祉フェスタ: 毎年恒例の餅つきの様子。9) 健康福祉フェスタ: 着物美人が抹茶を振舞いました。10) 健康福祉フェスタ: かわいい鼓笛隊が披露してくれました。11) 健康福祉フェスタ: 今年もたくさんの方に来て頂き、地域交流の場となりました。12) 健康福祉フェスタ: 栄養指導の他、血圧・体重測定、Dr相談コーナーもありました。13) 研究発表会: KHGの職員が日頃の研究成果を発表します。14) 健康福祉フェスタ: 子供達も夢中になっています。15) 新入職員オリエンテーション: 新入職員オリエンテーションの様子です。皆さん少し緊張しています。所属部署以外の部署からもオリエンテーションがあります。16) 全日本病院学会: 鹿児島大会に行ってきました。17) 地引網: 今年もおいしい魚がたくさんとれました。職員の家族もたくさん参加してバーベキューやスイカ割りを楽しみました。18) 忘年会: 先生方によるEXILEのパフォーマンス。大変盛り上がりました。19) 忘年会: 毎年、職員が趣向をこらした出し物が披露されます



- 中村雅将/日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医
- 吉川和寛/日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医
- 横田 綾/日本皮膚科学会専門医
- 北村悠樹/日本医師会認定産業医
- 看護師
- 大下千鶴/日本糖尿病療養指導士
- 西谷千代子/認定看護管理者ファーストレベル
- 永田眞美代/認定看護管理者ファーストレベル
- 佐藤裕子/日本糖尿病療養指導士
- 小倉加代子/日本糖尿病療養指導士
- 吉岡真智子/日本糖尿病療養指導士
- 福寿悦子/日本糖尿病療養指導士
- 近藤 恵/日本糖尿病療養指導士
- 大谷絃子/日本糖尿病療養指導士
- 井内明日香/日本糖尿病療養指導士
- 三宅直美/介護支援専門者
- 近藤 郁/介護支援専門者、透析技術認定士、福祉住環境コーディネーター2級、救急救命士
- 美馬祐里/介護支援専門員
- 薬剤師
- 志内敏郎/医療安全管理者、第一種衛生管理者
- 診療放射線技師
- 赤澤正義/放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 久米恵司/放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 猪籠浩司/日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 谷恵理奈/第一種放射線取扱主任者
- 森本真壽/第一種放射線取扱主任者
- 管理栄養士
- 浜田久代/日本糖尿病療養指導士
- 原 恵子/日本糖尿病療養指導士
- 森 恭子/日本糖尿病療養指導士
- 松浦香織/日本糖尿病療養指導士
- 臨床工学技士
- 田尾知浩/透析技術認定士
- 播 一夫/透析技術認定士
- 萩原雄一/医療安全管理者
- 細谷陽子/透析技術認定士
- 数藤敬一/透析技術認定士
- 来島政弘/透析技術認定士
- 原 俊夫/透析技術認定士
- 清水一郎/透析技術認定士
- 成瀬裕深/透析技術認定士
- 神村久美/透析技術認定士
- 中野正史/透析技術認定士
- 東根直樹/透析技術認定士
- 英 理香/透析技術認定士
- 道脇宏行/透析技術認定士
- 露口達也/透析技術認定士
- 歯科衛生士
- 前田さおり/認定歯科衛生士(認定分野B:障害者歯科)、嚙下トレーナー歯科衛生士
- 川尻和子/嚙下トレーナー歯科衛生士

◎院外団体等役職

- 川島 周/徳島県医師会会長、全日本病院協会常任理事、日本腎臓財団評議員、日本透析医会理事、徳島大学医学部臨床教授、徳島県立看護学院運営責任者、徳島総合健診センター理事長、徳島産業保健推進センター所長
- 島 健二/徳島大学名誉教授、日本糖尿病学会名誉会員、日本臨床化学会名誉会員、日本病態栄養学会評議員、徳島県医師会糖尿病対策班顧問、徳島県保険者協議会顧問
- 水口 潤/徳島大学医学部臨床教授、日本移植学会評議員、日本透析医学会理事・評議員、日本腹膜透析医学会副理事長、

川島病院のプロフィール (2010年9月1日現在) 川島循環器クリニックは川島病院循環器内科/外科となりました。

- 標榜科目/内科、腎臓内科(人工透析・腎移植)、泌尿器科(人工透析・腎移植)、循環器内科、糖尿病内科、循環器外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科
- 指 定/救急告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/一般病棟入院基本料 10対1、DPC対象病院、生体腎移植術、同種死体腎移植術、CT撮影、MRI撮影、心臓MRI撮影加算、エタノールの局所注入(甲状腺)、エタノールの局所注入(副甲状腺)、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、体外衝撃波胆石破碎術、医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術、褥瘡患者管理加算、療養環境加算、薬剤管理指導料、無菌製剤処理加算、栄養管理実施加算、麻酔管理料(Ⅰ)、画像診断管理加算2、運動器リハビリテーション料(Ⅱ)、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)、医療安全対策加算(Ⅰ)、検体検査管理料(Ⅰ)、検体検査管理料(Ⅱ)、医療機器安全管理料1、診療録管理体制加算、糖尿病合併症管理料、ニコチン依存症管理料、透析液水質確保加算、皮下連続式グルコース測定、救急搬送患者地域連携受入加算、がん治療連携指導料、歯科治療総合医療管理料、クラウン・ブリッジ維持管理料、救急医療管理加算、ペースメーカー移植術及び交換術、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)、在宅時医学総合管理料、総合評価加算、入院時食事療法(Ⅰ)、急性期病棟等退院調整加算2
- 施設認定/(財)日本医療機能評価機構 認定(審査体制区分I Ver.5.0)、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連機関
- その他/地域病診連携室 TEL088-631-1511 FAX088-631-1541

鳴島川島クリニックのプロフィール (2010年9月1日現在)

- 標榜科目/内科、人工透析内科
- 指 定/生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/電子化加算

鳴門川島クリニックのプロフィール (2010年9月1日現在)

- 標榜科目/内科、人工透析内科
- 指 定/生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項/電子化加算

◎取得資格

- 医師
- 川島 周/日本内科学会認定内科医、日本透析医学会認定医
- 島 健二/日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会指導医、日本老年医学会指導医
- 水口 潤/日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会認定指導医・専門医、日本透析医学会指導医・認定専門医、日本臨床腎移植学会腎移植認定医
- 西内 健/日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導医
- 水口 隆/日本内科学会認定総合内科専門医、日本血液学会専門医、日本医師会認定産業医、介護支援専門者
- 林 郁郎/日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医、日本神経学会専門医、日本医師会認定産業医
- 炭谷晴雄/日本泌尿器科学会指導医・専門医
- 木村建彦/日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医
- 土田健司/日本透析医学会指導医・専門医、日本泌尿器科学会指導医・専門医、日本アフエレーシス学会認定医
- 深田義夫/日本循環器学会専門医、日本外科学会指導医、麻酔標榜医
- 小松まち子/日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医、日本人間ドック学会認定医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、人間ドック健診情報管理指導士
- 野間喜彦/日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会専門医、日本臨床検査医学会専門医、日本内科学会研修指導医
- 日下 まき/放射線診断専門医
- 板東高志/日本口腔外科学会指導医・専門医
- 西谷真明/日本泌尿器学会指導医・専門医、日本透析医学会専門医
- 橋詰俊二/日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医

「血圧の測り方について」 看護師
「減塩のコツについて」 管理栄養士 参加者10名
■リハビリ件数/個別 12,190件 (11,900) 消炎 359件 (397) …合計 12,549件 (12,297)
■あすか/訪問介護 ケアハウスあすか入居数 延べ587件 (566) デイサービス利用者数 延べ7,849件 (6,748)
ヘルパーステーション利用者数 延べ1,250件 (1,081)
支援センター居宅サービス計画件数 延べ1,880件 (1,765)
介護タクシー利用者 延べ1,846件 (1,017)

平成21年度 業績集 ―― 2009

◎受賞者一覧

■日本医師会最高優功賞 島 健二 「地域住民への糖尿病対策に貢献した功労者」 11月1日,2009
■第64回トキめき新潟国体 個人 第5位 吉見俊二 「エアライフル成年男子伏射60発競技」 9月26日～30日,2009

◎論文・総説等 (2009年1月～12月)

■川島 周 「病院における院内暴力の実態と対策」医療安全 No.22 12月号 学研メディカル秀潤社、100-103,2009
■川島 周 「良質選書 -わたしを変えた一冊-」JOPE NURSING 2009 Vol.24 No.9 株式会社 メディカ出版、28-28,2009
■川島 周 「就職ガイダンスなどでアットホームな職場をPR」日本医療法人協会ニュース No.303 社団法人 日本医療法人協会、5-5,2009
■川島 周 「正確な数字の開示で官民の融和を」日本医療法人協会ニュース No.304 社団法人 日本医療法人協会、11-11,2009
■川島 周 「腎臓病と食事療法」とくしま難病支援ネットワーク 創刊号 とくしま難病支援ネットワーク会報実行委員会、5-6,2009
■島 健二、小松まち子 「糖尿病透析患者の血糖管理」透析会誌 42:47-57,2009
■島 健二、小松まち子、田中俊夫 「ボーナス歩数加算歩数記録表の作成とその評価」糖尿病 52:111-116,2009
■島 健二 「昔の恋人-インクレチン わが国のGLP-1 基礎研究」Diabetes Frontier 20:531-539,2009
■島 健二 「臨床検査ガイド 2009-2010、フルクトサミン、グリコアルブミン」文光堂、533-535,2009
■島 健二 「糖尿病死亡率全国ワースト1からの脱却を目指して-特定健診・特定保健指導への期待-」人間ドック 23:1122-1138,2009
■島 健二 「運動療法を楽しむ、やまい雑感」べんちのと20(3):1,2009
■島 健二 「きらめく定年後、あれもこれもできる幸せ年齢」論創社、東京、2009
■島 健二 「グリコアルブミン」月刊 糖尿病 1(2):145-153,2009
■水口 潤 「慢性腎不全における統合的治療」Clinical Engineering.Vol.(20)No.5:413-418,2009
■水口 潤 「末期腎不全と代行療法の選択について」臨床看護、35(6):857-865,2009
■水口 潤 「急性腎不全はどう治療する」ICUとCCU Vol.33別冊号:S110-S112,2009
■水口 潤 「政金生人、水口 潤:真夜中の鼎談 -芸術性の継承と若手育成 司会のまとめ-」腎と透析Vol.66別冊アクセス、2009:67,2009
■水口 潤 「腎不全総合対策とは」腎不全ハンドブック.医薬ジャーナル社:118-119,2009
■水口 潤 「腹膜透析カテーテル挿入術」CAPD研修テキスト 2009年度.特定非営利法人 日本腹膜透析研究会:21-27,2009
■水口 潤 「室谷典義、水口 潤:悪性腫瘍-透析患者の消化管悪性腫瘍、透析患者の肝臓、透析患者の肺臓」専門医試験問題集日本透析医学会 専門医制度委員会:296-301,2009
■西内 健、川島 周 「超多列CT導入で得られる循環器診療のメリットを探る」月刊 新医療 エム・イー振興会:56-58,2009
■水口 隆 「慢性腎臓病患者の鉄代謝と鉄剤の投与方法」日本医事新報 No.4462 C1-C5,2009
■水口 隆 「CKD患者におけるEPO抵抗性 -合併症から見た原因と対策-」中外製薬、2009
■水口 隆 「ESA抵抗性 透析患者の合併症とその対策」日本透析医会・合併症対策委員会編、83-102,2009
■水口 隆 「腎不全患者に対する鉄剤の投与方法」日本透析医学会雑誌42:59-69,2009
■水口 隆 「貧血増悪にはどう対応すればいいのでしょうか?」腎と透析 東京医学社66:552-554,2009
■水口 隆 「慢性腎臓病患者の鉄代謝と鉄剤の投与方法」DVD 日本臓器製薬、2009
■水口 隆 「透析患者の鉄動態 ~鉄の日内変動~」日本透析医学会雑誌42:818-820,2009
■炭谷晴雄、林田有史 「透析患者に発生した腎細胞癌手術症例の臨床的・病理学的検討」西日本泌尿器科 別冊 第71巻第1号、2009
■土田健司、中村雅将、吉川和寛、水口 潤 「血液透析 -バスキュラーアクセス バスキュラーアクセスカテーテル-」腎と透析65増刊号 別冊84-86,2008.12
■土田健司、中村雅将、吉川和寛、水口 潤、川島 周 「超高耐圧バルーン(CONQUEST TM)の使用経験」腎と透析66別冊 腎不全外科、116-119,2009
■土田健司 「薬物中毒」(社)日本透析医学会専門医制度委員会発行(改訂第6版)、日本透析医学会・専門医問題解説集、東京医学図書出版140-144,2009
■土田健司 「4.A.3バスキュラーアクセスの種類と機能評価 -バスキュラーアクセスの種類」透析療法事典 第2版130 医学書院 東京、2009
■土田健司 「4.A.4内シャント法とその合併症 -内シャントの作製法」透析療法事典 第2版131 医学書院 東京、2009
■土田健司 「4.A.4内シャント法とその合併症 -内シャント穿刺のコツ」透析療法事典 第2版 131医学書院 東京、2009
■土田健司、中村雅将、吉川和寛、水口 潤、川島 周 「真夜中の鼎談「芸術性の継承と若手育成」」「若手への伝承 -先輩と後輩の間で」腎と透析66別冊アクセス、71-73,2009
■土田健司、横田成司 「特集CKDステージ5におけるテーラーメイド医療「CKDステージ5における血液透析濾過」」Clinical Engineering5 427-432 秀潤社20(5)、2009
■Kenji Tsuchida、Masayuki Nakamura、Kazuhiro Yoshikawa、Shu kawashima、Jun Minakuchi 「Patency rate of native arteriovenous fistula of chronic hemodialysis patients」The Journal of Vascular Access 10(2)、129,2009(Suppl)
■土田健司 「特集 バスキュラーアクセスの進歩と課題 内臓肥厚への対応(3)薬剤投与」臨床透析25(8) 日本メディカルセンター、1147-1156,2009
■Kenji Tsuchida、Masayuki Nakamura、Kazuhiro Yoshikawa、Jun Minakuchi、Shingo Takezawa 「Current Situation of Endotoxin Retentive Filter」Blood Purification、2009(Suppl 1):28-35

■西内 健/徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員
■水口 隆/腎とエリスロポエチン研究会評議員幹事
■林 郁郎/日本循環器学会四国地方評議員
■炭谷晴雄/日本泌尿器科学会評議員、西日本泌尿器科学会評議員
■土田健司/日本透析医学会評議員、日本HDF研究会評議員、日本アクセス研究会評議員、日本腹膜透析医学会評議員、日本エンドトキシン研究会世話人、VAIVT研究会幹事、日本医工学会評議員、徳島大学医学部臨床教授、大阪市立大学非常勤講師、徳島透析療法研究会世話人、四国透析療法研究会世話人
■小松まち子/徳島県医師会生活習慣病予防対策委員会 糖尿病対策班班員、徳島市医師会糖尿病対策委員委員
■野間喜彦/日本内科学会四国支部評議員、日本臨床検査医学会中国四国支部評議員、日本糖尿病対策推進会議徳島県担当委員(日本糖尿病学会担当委員、日本糖尿病協会担当委員)、徳島県医師会糖尿病対策班班長、徳島大学医学部非常勤講師
■中村雅将/徳島県医師会腎疾患対策委員会委員、徳島大学臨床准教授、徳島大学非常勤講師
■南 幸/徳島腎不全看護研究会幹事
■大下千鶴/県立看護学院准看護学科専任教師、徳島CDEJ会会長
■田尾知浩/徳島県臨床工学技士会副会長
■久米恵司/徳島核医学勉強会世話人会役員、日本放射線技師会徳島県支部理事、日本核医学技術会中四国部会理事、徳島CT研究会世話人
■志内敏郎/日本腎と薬剤研究会の幹事、徳島腎と薬剤研究会事務局
■前田さおり/日本障害者歯科学会四国地方会医療推進協議会理事

■職員数 注:()内は2010年4月1日現在
(医)川島会 常勤職員総数304名(300)
常勤医師 19名(21)、歯科医師 2名(1)、非常勤医師 33名(38)、看護師 114名(110)、看護助手 42名(43)、薬剤師 10名(9)、管理栄養士 6名(5)、臨床検査技師 6名(6)、放射線技師 7名(6)、臨床工学技士 29名(29)、理学療法士 3名(3)、歯科衛生士 2名(2)、歯科助手 1名(0)、医事 22名(22)、総務 14名(12)、クラーク 13名(11)、庶務 14名(14)
(社)飛鳥 職員総数41名(39)
施設長 1名(1)、所長1名(1)、管理者 2名(3)、ケアマネージャー 5名(3)、ソーシャルワーカー 1名(1)、訪問介護員 13名(13)、看護師 2名(2)、介護職員 4名(7)、生活相談員 4名(2)、管理栄養士 1名(1)、乗務員 5名(2)、事務員 2名(2)

◎診療統計等 (2009年4月～2010年3月) 注:()内は前年同期

■外来患者延数 川島病院 98,069名(91,893) 川島循環器クリニック 29,717名(28,893) …合計 127,786名(125,749)
■入院患者延数 川島病院 22,493名(22,174) 川島循環器クリニック 5,157名(6,049) …合計 27,650名(28,223)
■新入院患者数 川島病院 895名(869) 川島循環器クリニック 564名(578) …合計 1,459名(1,447)
■血液透析患者数 川島病院 469名(459) 川島循環器クリニック 128名(119) 鴨島川島クリニック 162名(163) 鳴門川島クリニック 114名(112) …合計 873名(853)
新規導入数 70名(66)
延べ回数 川島病院 74,743回(71,567) 川島循環器クリニック 19,491回(19,138) 鴨島川島クリニック 24,631回(23,746) 鳴門川島クリニック 16,443回(16,275) …合計 135,308回(130,726)
■腹膜透析(CAPD) 患者数 61名(46) 新規導入数 16名(7)
■腎移植患者数/35名(33) (2009年12月累計/うち1例は2009年9月、1例は2009年11月)
■主要検査件数/消化器内視鏡 848件(774) CT 4,158件(3,047)うち冠動脈CT 425件(0) 腎生検 29件(30) 心カテ 169件(171) RI 800件 うち紹介522(791)うち紹介440) 心エコー 1,855件(1,691) その他のエコー 546件(471) 骨密度725(751)
■手術・処置件数/手術総数 837件(694) 結石破碎 延べ141件(146) シャントPTA 319件(269) PTCA 137件(137) ペースメーカー植え込み 12件(14)
■栄養指導件数/3,478件(3,042)
■糖尿病教室/平成21年7月17日 「糖尿病の合併症について」 医師 「食事のバランスと目安量について」 管理栄養士 「HbA1cについて」 看護師 参加者14名
平成21年11月27日「自分の検査値と目標値について」 医師 「食事のバランスと目安量について」 管理栄養士 「運動について」 理学療法士 参加者7名
平成22年3月26日 「糖尿病について」 医師 「糖尿病と歯周病について」 歯科医師 「食事のバランスと目安量について」 管理栄養士 「HbA1cについて」 看護師 参加者15名
■高血圧教室/平成21年9月4日 「高血圧について」 医師 「減塩のコツについて」 管理栄養士 「高血圧に対する運動」 理学療法士 参加者14名
平成22年3月12日「高血圧について」 医師

- 第52回日本糖尿病学会年次学術集会(大阪)5月21日～24日
島 健二…糖尿病透析患者の血糖管理目標(口演)
●小松まち子、川原和彦
小松まち子…当院における受診中断者の実態調査(口演)
●島 健二
- 日本内分泌外科学会総会(岡山)5月30日
佐藤泰之…原発性アルドステロン症で左副腎摘出後生体腎移植を行った1例(口演)
●飯塚淳平、今井健二、津嶋伸彦、橋本恭伸、田邊一成
- 第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会(横浜)6月5日～7日
島 健二…糖尿病透析患者のより良いケアを目指して(ランチョンセミナー)
島 健二…糖尿病透析患者の血糖管理基準(パネルディスカッション)
●小松まち子
吉川和寛…CAPDカテーテル抜去後も難治性PD腹膜炎が軽快せずに死亡した、PD+長期HD併用の一症例(口演)
●中村雅将、横田成司、佐々木正充、矢野俊史、土田健司、水口潤、川島 周
坂尾博伸…全自動透析装置GC-110Nの導入と業務効率(口演)
●西谷千代子、南 幸、土田健司、水口 潤、川島 周
志内敏郎…血液透析患者におけるシナカルセト塩酸塩投与方法と消化器症状についての検討(口演)
●金山恭子、中村雅将、水口 潤、川島 周
野崎麻子…ヘモダイアフィルターABH-Fの性能評価(口演)
●三橋和義、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周
英 理香…当院における水質管理の取り組み(口演)
●道脇宏行、磯田正紀、山田裕深、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、川島 周
大谷絃子…70%イソプロピルアルコールを使用しPD接続チューブ交換手技方法の変更を実施して～安全性と有用性の検討～(口演)
●小倉加代子、西分延代、中村雅将、土田健司、水口 潤
森 恭子…体重管理において「無関心期」である透析患者に対するアプローチ(口演)
●浜田久代、原 恵子、松浦香織、中堀嘉奈子、木村建彦、水口 潤、川島 周
岡田和美…血液透析患者における血清鉄の日内変動について(口演)
●山田真由美、中條恵子、大橋照代、水口 隆、水口 潤、川島 周
道脇宏行…限外濾過フィルターの性能評価(口演)
●英 理香、磯田正紀、山田裕深、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤 川島 周
三橋和義…FX-S膜の透析条件変更における物質除去特性の変化(口演)
●道脇宏行、英 理香、細谷陽子、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周
- 第3回徳島心臓CT・MRI研究会(徳島)6月9日
木村建彦…256列iCTの使用経験(口演)
●西内 健、橋詰俊二、谷恵理奈、末綱貴宏、久米恵司、日下まき
- 第27回心血管セミナー(高松)6月13日
木村建彦…256列MSCTの使用経験(口演)
●谷恵理奈、久米恵司、橋詰俊二、西内 健
- 第23回透析療法カンファレンス(徳島)6月23日
萩原雄一…バスキュラーアクセス管理について(口演)
●英 理香、新納誠司、平野春美、木村建彦、土田健司
- 第94回日本循環器学会中国四国合同地方会(高知)6月26日、27日
橋詰俊二…透析患者におけるSirolimus-eluting stentの長期予後について(口演)
●住友由佳、木村建彦、西内 健
- 第85回日本泌尿器科学会四国地方会(松山)7月4日
北村悠樹…慢性腎不全患者に対するf-TULの経験(口演)
●佐藤泰之、西谷真明、炭谷晴雄
- 第1回四国血管病治療研究会学術講演会(高松)7月4日
木村建彦…膝下動脈病変(BTK)に対する末梢血管インターベンション(PPI)の初期成績の検討(口演)
●橋詰俊二、西内 健、深田義夫
- 徳島医学会学術集会(徳島)8月2日
谷恵理奈…256列マルチスライス冠動脈CTの使用経験
●久米恵司、日下まき、木村建彦、林 郁郎、西内 健、川島 周
森 恭子…体重管理において「無関心期」である透析患者に対するアプローチ(口演)
●浜田久代、原 恵子、松浦香織、中堀嘉奈子、木村建彦、水口 潤、川島 周
- 日本アフェシス学会(札幌)9月10日～12日
佐々木正充…LDL-apheresisを機に血液透析から離脱出来た巣状糸球体硬化症の一例(口演)
●吉川和寛、中村雅将、土田健司、水口 潤
- 第58回日本心臓病学会学術集会(札幌) 9月19日、20日
松田幸子…高齢者心不全患者の自己管理能力の実態と指導効果(口演)
●祖地香織
- 第3回日本腎と薬剤研究会学術大会(徳島)9月19日、20日
志内敏郎…「徳島腎と薬剤研究会」現状報告(ポスター)
- 第43回四国透析療法研究会(愛媛)10月11日

- Kenji Tsuchida, Masayuki Nakamura, Kazuhiro Yoshikawa, Jun Minakuchi
「Current Contents of HDF in Japan」腎と透析Vol.167別冊 HDF療法'09, 18-24, 2009
- 野間喜彦 「予防とつきあい方シリーズ【改訂版】高血圧 糖尿病 –生活習慣病–」株式会社メディカルレビュー社 第1版第1刷, 2009
- 西谷真明 「進行腎がん患者に対してインターフェロン2(INF-a)とインターロイキン(IL-2)の併用療法は推奨されるか?」
EBM 泌尿器疾患の治療 2009-2010 中外医学社, 183-186, 2009
- 吉川和寛、水口 潤
「胃・十二指腸病変、下部消化管病変、口腔内病変、肛門病変、腭合併症」透析療法事典 医学書院 第2版, 2009/06
- 吉川和寛、土田健司
「I.治療法、操作条件の選択基準(3)操作条件の設定 –血液流量、透析液流量、希釈方法、補充液量」
臨床透析 日本メディカルセンター Vol.25 No.5(1-3), 2009
- 吉川和寛、水口 潤 「透析患者の難治性皮膚痒症における亜鉛の有効性」治療 南山堂 Vol.91 11月臨時増刊号, 2009
- 南 幸 「患者の治療法選択における看護ケアのポイント」臨床看護 Vol.35 No.6 ヘルス出版, 866-872, 2009
- 萩原雄一 「院内メールシステムを利用した重大医療事故シミュレーション訓練」社団法人 日本臨床工学技士会誌 No.37, 2009
- 道脇宏行、三橋和義、英 理香、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周
「FX-S220の性能評価」腎と透析Vol.67 別冊ハイパフォーマンスメンプレ'09 東京医学社 82-86, 2009
- 森浦弥生、萩原順子、三好友美、笠井泰子、松田幸子、祖地香織、藤井眞理、木村建彦、西内 健
「大動脈穿刺カテーテル後における新規下肢固定装置の有用性」日本心血管インターベンション治療学会誌 株式会社三輪書店
第1巻第号193-197, 2009
- 大谷絃子、中川結貴、小倉加代子、西分延代、中村雅将、土田健司、水口 潤
「70%イソプロパノールを使用しPD接続チューブ交換手技方法の変更を実施して–安全性と有用性の検討–」
腎と透析Vol.1 66別冊 腹膜透析 241-242, 2009

◎学会・研究会等発表(2009年1月～12月)

- 第33回四国臨床栄養研究会(徳島)1月17日
松浦香織…外来血液透析患者の便通異常対策としてサプリメント(GFO)投与の有効性・安全性について
●浜田久代、原 恵子、島 健二、水口 潤、川島 周
- 四国透析アミロイド症講演会(徳島)1月27日
平岡哲司…βミクログロブリン吸着器リクセルS-25の臨床評価
●森 浩章、細谷陽子、田尾知浩、土田健司、水口 潤、川島 周
- 第84回日本泌尿器科学会四国地方会(徳島)1月31日
炭谷晴雄…2008年川島病院手術統計(口演)
●西谷真明、矢野敏史、水口 潤
- フットケア研究会(徳島)2月12日
市原久美…外来透析患者の下肢熱傷実態調査(口演)
●佐藤恵美子、藤井 功、小松まち子、深田義夫、島健二
- 第26回心血管セミナー(徳島)2月14日
木村建彦…血液透析にて治療した冠動脈造影後急性腎障害の一例(口演)
●橋詰俊二、住友由佳、西内 健
- 第238回徳島医学会学術集会(徳島)2月15日
小松まち子…糖尿病患者に対する歩数ゲイアリーの効果(口演)
●島健二、田中俊夫
- 第14回HDF研究会(名古屋)2月14日～15日
野崎麻子…ヘモダイアフィルターABH-Fの性能評価(口演)
●三橋和義、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周
- 第24回ハイパフォーマンスメンプレ研究会(東京)3月15日
原 俊夫…JMS社製コンソールGC110の洗浄効果の確認(口演)
●英 理香、石原則幸、土田健司
野崎麻子…ヘモダイアフィルターABH-Fの性能評価(口演)
●三橋和義、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周
道脇宏行…FX-S220の性能評価(口演)
●三橋和義、英 理香、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周
- 第36回血液浄化技術学会(神戸)4月18日
高橋淳子…人工血管内シャント(AVG)のモニタリングにおける静的静脈圧の有用性(口演)
●英 理香、新納誠司、中村雅将、土田健司、林 郁郎、水口 潤、川島 周
- 6th Congress of the Vascular Access Society(Rome) 4月21日
土田健司…Patency rate of native arteriovenous fistula of chronic hemodialysis patients(ポスター)
●Masayuki Nakamura, Kazuhiro Yoshikawa, Jun Minakuchi
- 第19回日本臨床工学会(徳島)5月9日、10日
原 俊夫…JMS社製コンソールGC110の洗浄効果の確認(口演)
●英 理香、石原則幸、土田健司
萩原雄一…重大医療事故のシミュレーションについて(口演)
●木村建彦、土田健司、水口 潤、川島 周
野崎麻子…ヘモダイアフィルターABH-Fの性能評価(口演)
●三橋和義、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周

「インクレチンの今昔」学術講演会、7/17
「特定健診からみた徳島県におけるメタボリックシンドロームの実態」セミナー生活習慣病診療のUp to Date、7/30
「HbA1c vs GA」第7回大阪臨床糖尿病医会、8/8
「糖尿病死亡率ワーストワンからの脱却を目指して」鳥取、8/30
「ストップ ザ糖尿病」まなびの森講演会、9/5
「インクレチンとインクレチン関連薬剤」イライリリー社内研修会、9/15
「糖尿病の治療：血糖コントロール目標、食事療法、運動療法、薬物療法について」第2回徳島県糖尿病対策推進講習会、10/1
「徳島県における糖尿病医療の現状と医療連携」高知県糖尿病医療連携推進会議、10/3
「生活習慣病と運動」平成21年度徳島大学地域交流シンポジウム、10/12
「糖尿病の治療：血糖コントロール目標、食事療法、運動療法、薬物療法について」第2回徳島県糖尿病対策推進講習会、10/22
「各種健診データとレセプトデータ等による保健事業の評価に関する研究」平成21年度厚生労働科学研究費助成金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業、10/24
「徳島県における糖尿病医療の現状と対策」化学技術振興機構JSTイノベーションサテライト徳島研究発表会、11/5
「元気で長生き、きらめく人生を」佐那河内村制施行120周年記念式典、11/8
「増加する糖尿病にどう備えるか」NHKラジオ第1放送、11/9
「糖尿病の病態・検査」平成21年度徳島県糖尿病療養指導士研修会、11/13
「いっしょに歩こう、歩行の効用」2009、徳島、11/14
「インクレチンとインクレチン関連薬剤」今治地区糖尿病薬物治療セミナー、11/19
「糖尿病合併症と歯周病」市民公開講座、11/22
「糖尿病診断と治療」万有製薬社内研修会、11/25
「糖尿病のすべて」神山町介護支援専門員連絡会講演会、11/26
「インクレチンとインクレチン関連薬剤」鳴門市医師会学術講演会、11/30
「糖尿病と徳島県の現状、運動でヘルスアップ」徳大解放実践センター、12/2
「グルカゴンカルネッサンスを迎えた」対談、12/6

■水口 潤
「透析患者の血管病変のスクリーニング」第4回腎と心・血管フォーラムTokushima、2/5
「透析掻痒症の訴求ポイント」居薬品株式会社 社内講演会、2/26
「腎疾患診療の実際」徳島赤十字病院講演会、4/9
「ホスレノールの臨床試験結果」ホスレノール・アドバイザーミーティング、4/10
「徳島PDネットワークの現況」香川透析医会講演会、6/16
「血清リン値コントロールの意義」ホスレノール新発売記念講演会、7/9
「新しいリン吸着剤 ー開発治験の結果をふまえてー」ホスレノール新発売記念講演会、7/25
「徳島PDネットワークの現況」PD講演会in香川2009、7/16
「新しいリン吸着剤 ー開発治験の結果をふまえてー」ホスレノール新発売記念講演会、8/1
「新しいリン吸着剤 ー開発治験の結果をふまえてー」ホスレノール新発売記念講演会、9/17
「バスキュラーアクセストラブルへの対応」バスキュラーアクセスセミナーin徳島、9/24
「自分が慢性腎不全になったらどの治療法を選択するか ー腎移植ー」第18回次世代人工腎臓研究会、シンポジウム、10/24
「バスキュラーアクセストラブルへの対応」心血管系合併症講演会、11/26
「腹膜透析カテーテル挿入術」第15回 日本腹膜透析研究会 指導看護師講習会、11/27
「PD患者のアウトカム改善に欠かせないものとは」第15日本腹膜透析研究会、ランチョンセミナー、11/29
「新しいリン吸着剤 ー開発治験の結果をふまえてー」大分ホスレノールセミナー、12/3
「腹膜透析普及に向けて教育の重要性と徳島県にて実施されているPDネットワーク事業に関して」埼玉CAPD研究会・総会、12/5

■西内 健
「末梢動脈疾患の診断と治療」第7回心臓病ビジュアル市民公開講座、11/10
「高リスク患者さんに対する脂質管理の実際」第2回Primary Care Symposium、11/27

■水口 隆
「ESA治療抵抗性」第14回日本HDF研究会 ランチョンセミナー、2/14
「当院のrHuEPO投与量変更方法と貧血の実態」腎性貧血学術講演会、3/25
「貧血管理におけるネスプへの期待」透析合併症対策講演会、5/9
「rHuEPO治療抵抗性」中外製薬社内勉強会、5/29
「慢性腎臓病患者の鉄代謝と鉄剤の投与方法」第54回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー7、6/5
「透析患者の鉄動態」第54回日本透析医学会学術集会・総会 シンポジウム12 透析患者における貧血～発症のメカニズムと病態、6/7
「長期作動型ESAネスプがもたらす透析患者へのベネフィット～Hb変動を踏まえた最適な貧血治療戦略～」第3回慢性腎臓病治療研究会、7/9
「長期作動型ESAネスプがもたらす透析患者へのベネフィット～Hb変動を踏まえた最適な貧血治療戦略～」第14回岡山PIT研究会、9/1
「長期作動型ESAネスプがもたらす透析患者へのベネフィット～Hb変動を踏まえた最適な貧血治療戦略～」徳島県透析合併症対策講演会、9/3
「長期作動型ESAネスプがもたらす透析患者へのベネフィット～Hb変動を踏まえた最適な貧血治療戦略～」第7回腎不全治療・管理セミナー、9/12
「腎不全と鉄」第4回UFR、10/20
「Erythropoiesis-Stimulating Agents Treatment Resistance」Updated treatment strategies of long-term hemodialysis patients、11/15

■土田健司
「CKDにおけるリン・カルシウム・カリウムについて」鳥居薬品社内講演会、1/13
「透析療法の原理と実践 ～HDとPDの比較して～」第3回徳島腎と薬剤研究会、1/22
「Symposium:Asian Sessio[The Utilization of HDF therapy in Asia] Current Contents of HDF in Japan」The 14 th Annual Meeting of Japanese Society for Hemodiafiltration、2/14
「HDF療法への期待と将来展望」ABH-21F(16L後希釈HDF)、APS-21E(V型HD)APS-21EX(内部濾過促進型HD)の除去特性比較～α1ミクログロブリン除去率と アルブミン除去量の関係～」第14回日本HDF研究会、2/15
「Symposium2:Current Status and perspective of dialysis fluid delivery system related with purification of dialysis

多田浩章…維持透析症例における潰瘍、壊疽及び足趾切断端創治療の他覚的指標の検討ー皮膚還流圧(SPP)、ABIの有用性ー

●鳥野 誠、深田義夫

■第7回四国血管内イメージング研究会(高松)
木村建彦…256列Brilliance iCTの使用経験 ～ステント再狭窄の評価と透析症例～(口演)
●谷惠理奈、久米恵司、橋詰俊二、西内 健

■第26回日本障害者歯科学会学術集会・総会(名古屋)10月31日、11月1日
前田さおり…透析患者への口腔用ジェルを用いた口腔ケアの効果について(口演)
●川尻和子、板東高志

■第47回糖尿病学会中国四国地方会(岡山)11月5日、6日
小松まち子…当院における血液透析糖尿病患者の血糖コントロール状況(口演)
●野間喜彦、島 健二

■第61回日本泌尿器科学会西日本総会(高松)11月5日、6日
北村悠樹…排尿困難患者のESA治療と呼気中CO濃度
●荒井啓暢、岡添 誉、山本謙仁

■第18回腎とエリスロポエチン研究会(東京)11月7日
佐藤泰之…血液透析患者のESA治療と呼気中CO濃度(口演)
●水口 隆、中條恵子、水口潤、川島 周

■第51回全日本病院学会 鹿児島大会(鹿児島)11月21日、22日
藤元圭一…電子カルテシステム施設間連携の効果について(口演)
●松平敏秀、土田健司、木村建彦、西内 健、水口 潤、川島 周

■第15回日本HDF研究会学術集会・総会(徳島)11月21日、22日
磯田正紀…エンドトキシン捕捉フィルター(ETRF)JP80の性能評価(口演)
●道脇宏行、英 理香、山田裕深、細谷陽子、田尾知浩、石原則幸、土田健司、水口 潤、川島 周
道脇宏行…ETRFの性能評価(口演)
●石原則幸、土田健司、水口 潤

■第40回徳島透析療法研究会(徳島)11月22日
深田義夫…腹部大動脈石灰化がいつはじまり、どのように進行するか?(口演)
●久米恵司

吉川悦子…血液透析患者の呼吸中一酸化炭素の測定(口演)
●重長佐和子、三宅直美、中條恵子、佐藤泰之、水口 隆、川島 周
市原久美…透析患者の熱傷減少を目指して(口演)
●永田真美代、佐藤恵美子、深田義夫

■(社)日本内科学会四国地方会(高松)11月22日
佐々木正充…治療に苦慮した巣状糸球体硬化症の一例(口演)
●吉川和寛、中村雅将、土田健司、水口 潤

■第15回腹膜透析研究会(静岡)11月28日
中井三恵子…PD経験のない医療機関、施設に転院可能となった6症例(ポスター)
●笠井直美、小倉加代子、西分延代、土田健司、吉川和寛、水口 潤

■第21回日本糖尿病性腎症研究会(東京)12月6日
島 健二…糖尿病透析患者の血糖管理 ー目標と実態ー(ワークショップ)
●小松まち子

■第10回腎不全病態治療研究会・記念大会(東京)12月11日～13日
佐藤泰之…保存期慢性腎不全患者及び血液透析患者のESA治療と呼気中CO濃度(口演)
●水口 隆、中條恵子、水口 潤、川島 周

■第95回日本循環器学会四国地方会(愛媛)12月12日
木村建彦…膝下動脈病変(BTK)に対する末梢血管インターベンション(PPI)の初期成績の検討(口演)
●橋詰俊二、西内 健、深田義夫
橋詰俊二…ステント内再狭窄に対する256列冠動脈CTの有用性(口演)
●木村建彦、西内 健

◎講演、講義等(2009年1月～12月)

■川島 周
「医療機関(病院・診療所)内での暴言・暴力とその対策」愛知県医師会・愛知県、愛知県病院協会講演会、2/14
「腎臓病と食事療法」第4回とくしま難病支援ネットワーク定期総会 医療講演会、6/20
「院内暴力対策」市民病院講演、10/2

■島 健二
「糖尿病腎症について ー症例から学ぶー」徳島県栄養士生涯学習、1/17
「糖尿病と合併症 ー歯周病もそのひとつー」島根県歯科医師会「歯周疾患予防管理」研修会、1/25
「糖尿病と合併症 ー歯周病もそのひとつー」島根県歯科医師会「歯周疾患予防管理」研修会、2/15
「メタボリックシンドロームと一般検査 ー糖尿病腎症へのアプローチー」第17回四国地区一般検査研修会、3/8
「糖尿病の現状、病態、診断、検査と病診連携」徳島県糖尿病対策推進講習会、3/20
「末期慢性腎不全糖尿病患者の薬物療法」糖尿病領域における治療戦略に関する座談会、4/3
「インスリン治療今日、明日」糖尿病座談会、6/18
「糖尿病とは」四国化工機社員研修会、7/14

◎座長、司会等(2009年1月～12月)

- 川島 周 透析合併症対策講演会(徳島)9月3日 司会
第4回日本禁煙科学会学術総会in金沢(金沢)10月24日 座長
- 島 健二 第3回徳島県糖尿病対策推進講習会(徳島)1月8日 座長
第4回徳島県糖尿病対策推進講習会(徳島)2月5日 座長
第43回糖尿病学の進歩(松本)2月21日 座長
糖尿病治療の理論と実際-インスリン製剤と経口血糖降下薬の使い方-(徳島)3月18日 座長
徳島糖尿病と腎カンファレンス(徳島)6月24日 座長
インスリン治療の現状と問題点、Round Table Discussion(徳島)7月22日 座長
糖尿病と足病変を考える(徳島)11月12日 座長
第14回徳島県糖尿病対策推進講習会(徳島)12月3日 座長
- 水口 潤 徳島腎疾患講演会(徳島)1月22日 座長
第14回日本HDF研究会、シンポジウム:透析液水処理管理(名古屋)2月14日 座長
第14回日本HDF研究会、ランチョンセミナー(名古屋)2月15日 座長
徳島透析療法研究会PDネット講演会(徳島)4月30日 座長
第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会(横浜)5月9日 座長
アクセスセミナーin名古屋(名古屋)7月5日 座長
透析合併症対策講演会(徳島)9月3日 座長
第45回日本移植学会(東京)9月18日 座長
第13回日本アクセス研究会学術集会・総会(福岡)シンポジウム9月26日 座長
第18回次世代人工腎臓研究会(東京)10月24日 座長
第15回日本HDF研究会学術集会・総会(徳島)11月21日 座長
第15回日本腹膜透析研究会学術集会・総会(静岡)11月29日 座長
- 西内 健 Hypertension Forum in Tokushima(徳島)7月15日 座長
脂質異常症勉強会(徳島)11月20日 座長
ASOの治療の重要性について12月3日 座長
- 水口 隆 第18回腎とエリスロポエチン研究会(東京)11月7日 座長
- 土田健司 第7回川島ホスピタルグループ震災対策会議(徳島)1月23日 司会
四国透析アミロイド症講演会「透析整形外科の現況―透析アミロイド症を中心に―」(徳島)1月27日 座長
第14回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会(東京)3月7日 座長
第24回日本ハイパフォーマンスメンブレン研究会(東京)3月14日 座長
第7回徳島臨床透析セミナー(徳島)4月14日 座長
6th Congresso of the Vascular Access Society(Roma)4月22日 座長
第19回日本臨床工学会in徳島(徳島)5月9日 座長
第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会(横浜)6月6日 座長
第3回徳島PDネットワークセミナー7月12日 司会
第13回日本アクセス研究会学術集会・総会(福岡)9月26日 座長
第15回日本HDF研究会学術集会・総会(徳島)11月20、21日 大会長
第15回日本HDF研究会学術集会・総会(徳島)ランチョンセミナー(1)11月21日 座長
第15回日本HDF研究会学術集会・総会(徳島)シンポジウム2 11月21日 座長
第15回日本腹膜透析研究会学術集会・総会(静岡)11月28日 座長
- 木村建彦 第26回心血管セミナー(徳島)2月14日 座長
- 小松まち子 第1回糖尿病市民フォーラム(徳島)10月11日 座長
- 板東高志 カルシテック・インプラント研究会(徳島)10月11日 司会
- 志内敏郎 第4回腎と薬剤研究会(徳島)7月2日 座長
- 細谷陽子 第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会(徳島)6月6日 座長
- 英 理香 第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会(徳島)6月6日 座長

◎治験、製造販売後調査、疫学調査(2009年4月～2010年3月)

■治験(医薬品)		
川島病院	第Ⅱ相試験	2件
	第Ⅲ相試験	5件
川島循環器クリニック	第Ⅲ相試験	2件

■治験(医療機器)		
川島病院	1件	
川島循環器クリニック	1件	

■製造販売後調査		
川島病院	7件	
川島循環器クリニック	2件	

■疫学調査		
川島病院	3件	

fluid Current Situation of Endotoxin Retentive Filter」The 14th Annual Meeting of Japanese Society for Hemodiafiltration、2/15

「Current Situation of End-Stage Renal Disease in Japan」6th Congresso of the Vascular Access Society、4/21

「透析液清浄化の現状と問題点」第19回日本臨床工学技士会in徳島、5/10

「透析患者の周術期管理」ICUのない透析専門施設での周術期管理」第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会 シンポジウム、6/7

「透析液清浄化の実践とその効果」第15回愛媛の人工透析を考える会、6/13

「アフエレーシスの基礎と実際」第16回奈良県医師会透析部会血液浄化懇話会、6/20

「アクセスへの想い」アクセスセミナーin名古屋、7/5

「透析アミロイド症に挑む 吸着療法の可能性 ～特にリクセルの基礎と臨床～」第30回アフエレーシス学会、9/11

「透析アミロイドシスの治療戦略 ～リクセルvs HDF～」第73回大阪透析療法研究会、9/13

「New road to control Hyperphosphatemia(FAN)グループディスカッションKHGにおけるホスレノールの現況」第1回 Fosrenol Advisory board for New road to control Hyperphosphatemia(FAN)、10/8

「透析患者の病態と使用薬剤の特徴」第48回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中四国支部学術大会 ランチョンセミナー、11/8

■小松まち子

「当院における末期腎不全糖尿病患者の血糖コントロールの状況」徳島糖尿病と腎カンファレンス、6/24

「糖尿病腎症と透析治療」徳島市医師会糖尿病市民公開講座、7/19

「糖尿病の生活指導 妊娠と糖尿病」平成21年度第1回徳島県糖尿病療養指導士研修会、11/13

■深田義夫

「末梢動脈疾患のスクリーニングについて 現状とデータ」第4回腎と心・血管フォーラムTokushima、2/5

「透析症例の腹部大動脈石灰化はいつはじまり、どのように進行するか?」第40回徳島透析研究会、11/22

■野間喜彦

「糖尿病について関連する検査をどう使いこなすか」美馬市医師会学術講演会、8/27

「糖尿病腎症」腎・尿路・男性生殖器コースの講義、9/7

「糖尿病性最小血管症:腎症、網膜症、神経障害への対応」徳島県糖尿病対策推進講習会、11/5

「糖尿病性最小血管症:腎症、網膜症、神経障害への対応」徳島県糖尿病対策推進講習会、11/26

■南 幸

「穿刺とアクセス管理における看護師の役割」第5回山梨アクセス研究会、1/31

「看護師によるVA管理とスタッフ指導」第13回日本アクセス研究会学術集会・総会、シンポジウム、9/26

■西谷千代子

「当院における新型インフルエンザ対応」第4回徳島県ICTネットワーク研究会、2/6

■浜田久代

「腎機能障害の栄養指導についての学習会」腎機能障害の栄養指導についての学習会、8/4

「栄養指導の実際」平成21年度第1回徳島県糖尿病療養指導士研修会、11/13

■松浦香織

「当院における栄養指導の実際 ～特色と課題～」栄養士会研修会、5/27

■大石晃久

「筋力トレーニングについて② ～実際の仕方について～」リハビリ教室、徳島市、1/7

「ホームエクササイズ指導 ～基礎運動の実技～」リハビリ教室、徳島市、1/14

「ホームエクササイズ指導 ～基礎運動の実技～」リハビリ教室、徳島市、1/28

「ホームエクササイズ指導(応用実技編)～タオルを利用したの運動～」リハビリ教室、徳島市、2/4

「ホームエクササイズ指導(応用実技編)～ペットボトルを利用したの運動～」リハビリ教室、徳島市、2/25

「ホームエクササイズ指導(応用実技編)～音楽に合わせたリズム体操～」リハビリ教室、徳島市、3/4

「ホームエクササイズ指導(応用実技編)～阿波踊り体操(高齢者編)～」リハビリ教室、徳島市、3/25

「全身調整運動について ～ストレッチ・筋力トレーニングの仕方～」リハビリ教室、徳島市、4/8

「棒(タオル)体操指導 ～実技～」リハビリ教室、徳島市、5/13

「ペットボトル体操指導 ～実技～」リハビリ教室、徳島市、6/24

「膝関節痛に対する予防について ～変形性膝関節症を中心に～」リハビリ教室、徳島市、7/22

「膝関節痛に対する予防体操について ～実技～」リハビリ教室、徳島市、8/26

「楽しみながらの運動について ～阿波踊り体操(基礎・シニア編)～」リハビリ教室、徳島市、9/30

「腰痛に対する予防について」リハビリ教室、徳島市、10/28

「腰痛に対する予防体操について ～実技運動指導～」リハビリ教室、徳島市、11/25

「転倒予防について ～転ばないための身体づくり～」リハビリ教室、徳島市、12/9

「膝関節痛に対する予防と対策について ～変形性膝関節症に対する予防と対策を中心に～」リハビリ講座、徳島市、2/20

「介護予防トレーニングについて」リハビリ講座、徳島市、5/8

「膝関節痛に対する予防・対策について ～変形性膝関節症に対する予防・対策を中心に～」リハビリ講座、徳島市、8/7

「転倒予防について ～転ばないための身体づくり～」リハビリ講座、徳島市、11/20

「転倒予防について ～転ばないための環境づくり～」リハビリ講座、徳島市、12/11

「転倒予防について」家族介護教室、11/5

■友成美貴

「廃用症候群について ～長期臥床が招く様々な症状～」リハビリ講座、徳島市、6/26

■宮本智彦

「腰痛症について ～自己管理で腰痛に悩まない身体づくり～」リハビリ講座、徳島市、9/25